令和6年1月1日発行／毎月1回1日発行／通巻1025号

総合演劇雑誌

テアトロ

1
2024

【批評的エッセイ】「金夢島」と「吉良屋敷」 渡辺 保

【特集 戦争と演劇】

染谷 歩／三條三輪／跡見 梵／池田政之／安達紀子／由起 圭
服部吉次／本田 徹／しまよしみち／原田一樹　篠本賢一
江久里ばん／古城十忍

追悼 トム・ジョーンズ氏を偲んで 勝田安彦

◉連載　旅する演出家㊼　流山児 祥／いまを生きる㉜　坂手洋二
共創する空間へ㉒　西堂行人

今月選んだベストスリー 353 河野 孝

第37回テアトロ新人戯曲賞募集!

◆戯曲◆

アイの希望

福井次郎

No. 1025

11月の関西

修復する人間の力。未来が見えなくても。

清流劇場【台所のエレクトラ】
立ツ鳥会議【トレマ】
虚空旅団【四T桜梅桃李】
匿名劇壇【いないいないないなぁ！】
エイチエムピー・シアターカンパニー【ハムレット　例外と禁忌】

九鬼葉子

清流劇場が『台所のエレクトラ』を上演（10月14日、大阪市の一心寺シアター倶楽で所見、エウリピデス原作、田中孝弥台本・演出）。

母のクリュタイメストラ（八田麻住）と愛人アイギストス（上海太郎）に、王である父を暗殺され、貧しい人足（上海太郎）に嫁がされたエレクトラ（中迎由貴子）。弟のオレステス（勝又諒平）は老僕（阿部達雄）の助力で亡命。10年後に姉弟は再会、復讐を果たす。

古代ギリシア悲劇では描かれることのなかった「食べる」場面を挿入。さらに大阪弁で演じることで、日常性を強調。人足には、結婚以前から恋人（八田麻住）がいる設定を加えた。人足は新王・アイギストスの命令で結婚したものの、金を貰って、本命の恋人と豪華な食事を楽しんでいた。

人間の生々しい欲望を活写。現代に通じる身近なドラマに仕上げた。舞台は、人足のあばら家の台所。芸達者な俳優達により、喜劇性が際立ち、悲喜劇の構造に転化した点が興味深い。

復讐するために、エレクトラは母を家に呼び寄せる。母は娘に愛情を抱いているものの、娘の敵意ある言葉の前で、素直に表現できない。母娘特有の複雑な関係性を焙り出した。

母への復讐を遂げた後、夫の浮気を知ったエレクトラは、母からもらった饅頭を夫に食べさせる。母に毒を盛られたと思っていたが、夫が美味しそうに食べたことで、実は母から愛されていたことに気づく。この後の人生で少しずつ母を理解し、再生できるのだろう。生気と人情味が伝わる舞台。